

事業実施報告書

法人名	NPO法人子ども地域ネットワーク所沢
活動名	所沢secretbase(学生活動支援)
助成事業の種類	SDGs推進活動助成
	人間分野
事業の目的	
<p>本事業は、①学生の孤立や心の問題、②子どもが商業の対象となることによる格差や電子機器依存、③目的を持っていないまま社会に出る若者の増加という三つの課題に取り組むことを目的としています。特に①の背景には、自殺や非行、不登校、性被害などの問題があり、家庭や学校以外に信頼できる大人や年上の存在がいないこと、人との関わりが少ない中で葛藤への耐性や対話力が育ちにくい状況があります。そこで本事業では、多世代とつながる居場所をつくり、体験や経験を通して生きる力を育むことを重視します。地域や学生主催のイベント、企業や芸術に触れる機会、行政や社会人と関わる報告・発表の場を設けることで、実践力や主体性を育成します。また、大学生が中高生を支える体制を整え、継続的な見守りと伴走支援により、安心して挑戦できる環境を提供します。学校や家庭、年齢によって分断されがちな学生对环境に対し、地域の中で多様な人や価値観と出会うことで、複数のアイデンティティを育み、孤立を防ぐ地域力の形成を目指します。これらの取り組みを通して、不登校やネグレクト、自殺などの深刻な課題を未然に防ぎ、共に未来をつくる人材を育成していきます。</p>	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
<p>学校や家庭という限られた環境の中で孤立しやすい学生に対し、地域とのつながりを通して「やりたい」「つながりたい」という気持ちを育むことに取り組みました。3年間の活動を通じ、事業の成果と同時に、地域における課題の実態がより明確に見えてきました。まず、食の面では、学生が口にする食材や料理の経験に大きな偏りがあり、生活体験そのものが限られている現状がありました。また人への関心については、「自分さえよければよい」という意識が言語化されることは少ないものの、無意識のレベルで他者との関わりを避ける言動や態度が多く見受けられました。一方で、興味関心のある活動や目的を媒介に関わる場面では抵抗感が少なく、仲間意識が高まる傾向が確認できました。多くの学生は、学校と家庭以外の社会に目を向ける心理的余裕がなく、次のステップを描けないことが不安やストレスの要因となっています。発達や経験の不足から、適切な距離感や失敗時の振る舞いが分からず、評価されることや恥をかくことへの過敏な恐怖が強く表れていました。学校や家庭が地域と十分につながっていない現状は、子どもが社会的経験や成長の機会を失う要因となり、不登校や自殺、将来的な引きこもりの増加につながっています。特に県立高校が多い地域では実態把握が難しく、地域と学生をつなぐ仕組みづくりが喫緊の課題であることが、この3年間の取り組みから明らかになりました。</p>	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
<p>学生と地域をつなぐことを目的に、学生主体のイベント企画・運営を行ってきました。主要となる高校生数名と共に企画会議を重ね、地域への交渉や調整にも学生自身が関わりました。準備期間を含めた継続的な関わりの中で、集まる場所は単なる活動拠点ではなく、生活の一部として安心して過ごせる場となり、自分らしさを表現し、飾らない姿を受け止め合える学生コミュニティが形成されました。その中で、同年代に「学校へ行けなくなった」と打ち明け、支援者につながることで1か月以内に学校復帰へつながった事例や、児童相談所・こども家庭センター・警察等と連携した相談対応もありました。困難を抱える学生自身も、同年代と取り組みを進める中で役割ややりがいを見出し、生きる価値や目的を感じながら活動を継続できるようになりました。イベント主催を通じて来場者から感謝や評価の言葉を受け取る経験は、学生の存在意義の実感や自己肯定感の向上につながりました。企業や地域の人と関わり、専門的な知識や経験に触れる機会は、新たな発見や向上心を育み、進路に悩む高校生・大学生にとっては、身近なロールモデルの存在が心の安定や将来を描ききっかけとなりました。これらの積み重ねにより地域からの信頼が高まり、新たな依頼や出会いが生まれています。</p>	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
<p>活動に参加した学生および保護者からアンケートを回収し、成果を確認しました。小中学生からは「高校生や大学生が優しく接してくれて、また行きたい」「家では見せない楽しそうな姿が見られて嬉しい」といった声が寄せられ、保護者からも安心できる居場所として評価されました。高校生・大学生からは「家や学校では出せない自分らしさを安心して出せる」「進路や勉強を気を遣わず相談できる」「地域の人との出会いが受験や将来にも役立つ」などの声があり、心理的な安定と人とのつながりが育まれていることが確認できました。今年度は拠点移転の影響もありましたが、年間延べ利用者数は1,300名を超え、イベント参加学生160名、来場者2,300名、関係団体8団体、個人18名との連携が生まれました。3年間の継続的な取り組みにより地域からの信頼が高まり、行政からの依頼を受けるなど、市内での認知度向上と新たな展開につながっています。</p>	

費用面での工夫
限られた予算を有効に活用し、より多くの学生に継続的な体験機会を提供するため、費用面での工夫を重ねてきました。まず、
年間のイベント数を見据え、景品や装飾、消耗品等は必要数をまとめて購入することで、単価の抑制と経費削減を図りました。また、備品については単発利用ではなく、
3年間の活動を通して繰り返し活用できるものを選定し、複数のイベントで使用することで費用対効果を高めました。これにより、
受益者である学生や来場者の負担を抑え、無料で参加できるブースや体験企画を設けることができました。講師や出演者の依頼については、学生の背景や本事業への想いを丁寧に伝え、
趣旨に共感いただける団体や、過去3年間で信頼関係を築いてきた団体へ依頼することで、無理のない条件での実施が可能となりました。
さらに、交通費や運営コストを抑えるため、企画会議はオンラインを活用し、当日の応援スタッフも必要最小限とすることで人件費を削減しました。
削減できた予算は学生の活動内容や体験の充実に充て、学びの質を高めることにつなげています。
地域社会への還元
自治会行事から市主催イベントまで幅広く声を掛けていただく中で、学生が関わることによる効果として、会場に活気が生まれ、主催者自身も元気をもらえるといった評価が広がりました。
これにより、学生の声に耳を傾け、応えようとする大人や団体が増え、地域と学生が対等に関わる関係性が育まれています。
また、協働企画やコラボレーションの機会も増加し、学生は「支援される存在」から「地域を共につくる担い手」として少しずつ認識されるようになってきました。学生にとっては、
地域活動への参加が学校教育の補完となり、受験や就職活動において体験を語る材料となるなど、実践的な学びにつながっています。さらに、学生の現状や思いを地域へ発信することで、
手を差し伸べてくれる大人が増え、そのつながりの中で想像以上の活動や成果が生まれています。
こうした経験は、学生が社会や大人への信頼を深め、帰属意識や地域資源を大切にすることを育む貴重な機会となっています。
今後どのように事業を継続し発展させるか
3年間の取り組みを通して一定の成果を上げましたが、支援の輪や学生の活動の場は、今後さらに広がる可能性を持っています。学生の活動や地域とのつながり、
安心して過ごせる居場所があることは、孤立や不登校など現在の社会課題を解決する一助となるものであり、より多くの地域や関係者にその意義を伝えていく必要があります。
今回の助成は、その土台づくりとして非常に大きな機会となりました。来年度は、これまでの地域活動を継続するとともに、不登校や生きづらさを抱える生徒の利用が増えている現状を踏まえ、
地域活動に直接参加することが難しい学生でも、地域とのつながりを持てる機会づくりに力を入れていきます。安心できる居場所を基盤とし、食事の提供やイベント、外部講師による芸術・文化体験を通して、
感動や表現に触れる機会を設けます。特に、コミュニケーションに課題を抱える学生が、言葉に頼らない表現や体験を通して人との距離を縮め、
対話や関わりへの抵抗感を和らげていくことを目指します。今後は、これまでに築いたつながりや実績、学生の声を活かし、
支援協力団体や個人をさらに募り、より多くの学生が身近に体験できる場を確保していきたいと考えています。

事業収支計算書

法人名 NPO法人子ども地域ネットワーク所沢

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	500,000	500,000	0	
自己資金	51,000	95,621	44,621	
活動実施による収入等	50,000	109,000	59,000	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	601,000	704,621	103,621	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	30,000	39,850	9,850	
通信運搬費		0	0	
旅費交通費	60,000	13,860	△ 46,140	
消耗品費	400,000	530,501	130,501	
備品費		0	0	
委託費	6,000	8,410	2,410	
謝金	30,000	55,000	25,000	
人件費	75,000	57,000	△ 18,000	
その他		0	0	
支出の部 合計	601,000	704,621	103,621	